

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	セルフブランディング		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	セルフブランディング	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース / アーティストスタッフコース / レコーディングコース / PA&Recコース / PAコース / 照明コース / ローディーコース / 企画制作コース / 舞台製作コース				教員の 実務経験の有無	非該当
担当講師 実務経歴	SchooSwingを利用					
授業概要						
オンデマンド学習システム「Schoo Swing」の動画群の中から抜粋し、視聴する。(自己啓発、リーダーシップ、価値観、目標達成など) また、卒業生や外部協力企業に依頼してオリジナルコンテンツを作成し、視聴する。						
到達目標						
学生自身が、その手にしっかりと「自分の人生のオール」を持ち、漕いでいくために、自分のブランドを知り、自分が目指すのはここだ！という「羅針盤(コンパス)」を設定できるようなコンテンツを、オンデマンド学習システム「Schoo Swing」の動画群の中から抜粋し、視聴する。						
授業計画・内容						
【前期】 1～8回目	◆学ぶ理由・学び方 「やる気の源泉」が習慣を変える／凡事徹底とは何か(20分)／学習がづらいのは「やり方を知らない」から／「心の本音」がやる気を育てる／自己成長はどうやったら実感できるの？／やる気より、「感覚」と「仕組み」に頼る					
【前期】 9～13回目	◆自己理解 心と向き合い、感情を整理する習慣／自ら動いてもっとワクワク働こう／やりたいことを見つけるセルフコーチング／内省 キャリアの方向性を考える					
【前期】 14～19回目	◆さまざまな学び 「ほめ上手」と「ゴマすり」って何が違う？／NLPを知ってポジティブになろう／本気で変わりたい人の行動イノベーション					
【後期】 20～24回目	◆さまざまな思考 自己肯定感と自己効力感の違いって？／負の感情を前に進む力に変える／なぜポジティブのほうが目標達成しやすいのか？					
【後期】 25～33回目	◆リーダー・チーム 「集合知性」がチームでの成果をつくる鍵／内向型リーダーの強みを発揮するヒント／個人と組織のパフォーマンスを最大限に引き出す方法					
【後期】 34～38回目	◆まとめ・振り返り 「観・在り方」主導のキャリア／チャンスをつかみ取る人の習慣／ブレない自分をつくる7つの問い／先送りをなくす未来の自分デザイン					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考	各動画については、レポートを課す。①今回の動画で印象に残った言葉は？②今回の動画を視聴して、明日から行動することを具体的に1つあげてください。③今回の動画の感想は？ 一方的な動画視聴で終わらないように、担当教務からのフィードバックを全体に行っている。					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	一般教養講座		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	一般教養講座	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	PAコース/照明コース/舞台製作コース/企画制作コース/ レコーディングコース/PA&レコーディングコース/アーティストスタッフコース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	音楽専門誌の記者を経て、東京未来大学こども心理学部・特任准教授として教鞭をふるう。 現在は音楽教育の場におけるコミュニケーションのあり方をテーマに研究中。				
授業概要					
「コミュニケーション能力」「状況判断能力」「説明能力」の3点をテーマとした講義。					
到達目標					
社会人としての基礎的スキルの習得。					
授業計画・内容					
【前期】 1～6回目	ガイダンス 受講方法と1年間の授業内容 仕事を想定したEメールの使い方:メールの基本、設定、送受信、アドレス帳の活用、署名の作成				
【前期】 7～12回目	他者に伝える説明:時系列で説明する、情報を整理(グループ分け)して説明する、話を要約して説明する、主観と客観を区別して説明する、指示の手順を考えて説明する				
【前期】 13～18回目	文章の書き方:「話し言葉」と「書き言葉」を区別して書く、5W1Hの要素を組み込んで書く ビジネス文書:ビジネスメールを送信する、ビジネス文書の種類を知る、社内文書の書式と文章作成				
【前期】 19～24回目	コミュニケーション論:コミュニケーションの考え方、言語コミュニケーション(対人/メディア/言葉の言い換え/リフレーミング/説得)・非言語コミュニケーション(表情、視線、顔ざ、相づち/他者との距離、パーソナル・スペース)				
【後期】 25～31回目	敬語表現:敬語の分類を知る/尊敬語・謙譲語の使い方、間違いやすい敬語、実践・仕事でよく使う敬語				
【後期】 32～38回目	履歴書の書き方:基本データ、自己PRと志望動機 心理学講座:自分を知る、社会からの影響、他者との関わり				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	エンタメ業界講座		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	エンタメ業界講座	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	30回(60単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置コース	PAコース/照明コース/レコーディングコース/PA&レコーディングコース /アーティストスタッフコース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	2001年に株式会社ドワンゴへ入社。部長職を経験後、音楽レーベル子会社へ転籍、プロデューサー職へ。ボーカロイドをはじめとするニコニココンテンツや声優・ラジオコンテンツのCDパッケージを数多く担当。現在はフリーランスとして、ネットやアプリの配信番組も多く担当、その他、動画の撮影編集、SNSを含めた運営及び運用、専門学校講師等に従事。					
授業概要						
アーティスト/タレントとプロダクションを中心とする、エンタテインメント業界のさまざまな職種と業務および関わりを学ぶ。						
到達目標						
業界内の会社知識の修得および業界企業の相関性の理解。						
授業計画・内容						
【前期】 1～4回目	芸能業界の全体像について					
【前期】 5～8回目	プロダクションの業務内容について レコード会社の業務内容について					
【前期】 9～12回目	著作権について 音楽出版社の業務内容について					
【前期】 13～16回目	TV・ラジオ/書籍出版社/Webメディアの業務内容について 媒体研究					
【後期】 17～20回目	RECスタジオ/マスタリングスタジオ/リハーサルスタジオについて					
【後期】 21～24回目	映像制作会社/編集スタジオ/MAスタジオ/音プロについて					
【後期】 25～28回目	ホール/ライブハウス/イベンターについて					
【後期】 29～30回目	HTMLとCSSの仕組み 1年間の総括					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	分野別ワークⅠ		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	分野別ワークⅠ	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	30回(60単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース/アーティストスタッフコース/企画制作コース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	都内ライブハウスにて一般業務に加え、ステージ転換・照明オペレート等に従事する他、機材メンテナンスやフライヤー制作も担当。アーティスト対応や事前調整により円滑な進行に貢献し、重要公演の照明や主催イベントの制作を担当。					
授業概要						
音楽イベントの基礎知識(職種・舞台用語・機材・資料読解)を学び、バミリや転換などの基本技能を習得する。 実践的な転換・設営の練習を通して、総合的なイベント・現場対応力能力を養う。						
到達目標						
音楽イベントの流れや職種を理解し、舞台・機材に関する基礎知識を身につけるとともに、セット図や各種資料を読み取り作成できる力を養う。 バミリや転換作業を安全かつ的確に行い、状況に応じた柔軟な対応を通して、ステージ運営に必要な実務を遂行できる能力を習得する。						
授業計画・内容						
【前期】 1～6回目	音楽業界・イベント構成における職種解説／イベントの1日の流れ・各セクションの動き／舞台用語					
【前期】 7～12回目	通常バンドセットの楽器の種類/ハの字巻き練習／アンプの種類／バミリ:立ち位置、アンプ、モニターのバミリ セット図、セトリスト:セット図の見方、必要な情報、セトリストの必要性					
【前期】 13～15回目	転換／バミリ、アンプ入れ替え／ライブ資料の読み解き・資料チェック／タイムテーブル作成において音響照明のポイント 楽器備品:マイクスタンド、箱馬etcステージで使う備品に関して					
【後期】 16～20回目	バンドセットの転換練習:通常、Key有無、SEQ有無、お立ち台有無、Drセット移動有無					
【後期】 21～25回目	バンドセットの転換練習:通常、Key有無、SEQ有無、お立ち台有無、Drセット移動有無					
【後期】 26～30回目	照明練習、転換練習／授業まとめ					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	ライティング講座		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	ライティング講座	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	30回(60単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置コース	アーティストスタッフコース/企画制作コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	音楽雑誌『CROSSBEAT』編集者を経て、2002年よりフリーランス。ライターとしてもこれまでに数多のインタビューを行なっている他、2002年よりフジロック・フェスティバルのオフィシャル・パンフ編集長。ライター、ラジオパーソナリティ、放送作家としても活動中。					
授業概要						
依頼文や手紙などの実用文章、レポート文、SNS、小論文など様々な文章の形態について学び、社会人としてのスキルを身につける。						
到達目標						
音楽業界で仕事をする上で必要な文章力を身につける。						
授業計画・内容						
【前期】 1～4回目	文章の種類:仕事で求められる文章の種類、特徴について解説 語彙を増やす:適切な言葉を選べるようになるためのポイント					
【前期】 5～8回目	語彙を増やす:対義語・類義語のおさらい 語彙を増やす:感情表現のバリエーションを考える					
【前期】 9～12回目	思考訓練:物事を様々な方面から見る練習 思考訓練:名称から実態を想像する／ものに名前を付けてみる					
【前期】 13～16回目	体験したことを文章にする:自分の身に起こったことを文章で説明する 体験したことを文章にする:ライヴ・レビューの書き方					
【後期】 17～20回目	調査をして解説する:ニュースなどの詳細を調べて文章をまとめる練習 SNS時代の文章のまとめ方:メディアに合った文章					
【後期】 21～24回目	紙資料を作ってみよう:アーティストの魅力を伝える文章の書き方 紙資料を作ってみよう:互いの資料を読んで感想を伝え合う					
【後期】 25～28回目	論理的思考のための練習:原因と結果の考察 論理的思考のための練習:読み手を納得させる文章のポイント／言葉の再定義					
【後期】 29～30回目	実用的文章(メール):要件がわかりやすいメールの書き方 実用的文章(手紙):時候の挨拶を入れたフォーマルな手紙の書き方					
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	マネジメントワーク		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	マネジメントワーク	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	30回(60単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	アーティストスタッフコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	エイベックスにて約25年勤務。ロック、J-POP、アイドル、シンガーソングライター、HIP HOP、レゲエなど、幅広いジャンルにおいてアーティストの戦略立案やプロモーションを担当。退職後は独立し会社を立ち上げ、ガールズグループのプロデュースを牽引。また、TikTok提携ライブエージェンシーの運営も行っている。					
授業概要						
プロダクションとマネージャーの業務内容を把握し、マネジメントの売上方や仕組み、プロダクションの立ち位置や役割、対メーカー、対媒体等、総合的に考え動くことができるよう、基礎となる知識を学ぶ。						
到達目標						
プロダクションやマネージャーに関する基礎知識の修得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～4回目	マネジメントの成り立ち マネジメント:仕事の流れ					
【前期】 5～8回目	マネジメント:事務所／ファンクラブ／情報収集／プロフィール作成 マネジメント:新人発掘／オーディション／プレゼンテーション					
【前期】 9～12回目	マネジメント:日本のプロダクションについて① マネジメント:日本のプロダクションについて②					
【前期】 13～16回目	マネジメント:日本のプロダクションについて③ マネジメント:日本のプロダクションについて④					
【後期】 17～20回目	マネジメント:アーティスト・俳優・タレント・声優との関わり方① マネジメント:アーティスト・俳優・タレント・声優との関わり方②					
【後期】 21～24回目	マネジメント:アーティストプランニング／スケジュールの組み方 マネジメント:GoogleMap／道路／新幹線／飛行機／行程組み					
【後期】 25～26回目	マネジメント:音源制作／ビジュアルワーク制作／ミュージックビデオ制作					
【後期】 27～28回目	マネジメント:営業／お店とインスタ／アウトストア マネジメント:プロモーション／宣伝／販売促進					
【後期】 29～30回目	マネジメント:ライブ制作／予算と場所／宣伝／グッズ マネジメント:セット図／セットリストについて					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	レーベルワーク		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	レーベルワーク	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	15回(30単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	アーティストスタッフコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	学生時代にエレキギターの勉強のため海外留学をする。日本コロムビア株式会社に入社。A&Rとしてアーティスト育成およびマネジメント、原盤制作、デジタルおよびメディアプロモーション、ライブイベント制作およびブックイング、海外プロモーションなどを幅広く担当。					
授業概要						
レコード会社/レコードレーベルの業務内容を把握し、売上方や仕組み、レコード会社/レコードレーベルの立ち位置や役割、対メーカー、対媒体等、総合的に考え動くことができるよう、基礎となる知識を学ぶ。						
到達目標						
レコード会社/レコードレーベルに関する基礎知識の修得。						
授業計画・内容						
【前期】 1回目	レコード会社の成り立ち レコード会社:仕事の流れ					
【前期】 2～3回目	レコード会社:制作／宣伝／営業(販促) レコード会社:メジャーとインディーズ／流通					
【前期】 4～5回目	レコード会社:日本のレコード会社について① レコード会社:日本のレコード会社について②					
【前期】 6～7回目	レコード会社:日本のレコード会社について③ レコード会社:日本のレコード会社について④					
【前期】 8～9回目	制作:マーケティング 制作:コンセプト					
【前期】 10～11回目	制作:楽曲づくり 制作:リファレンス					
【前期】 12～13回目	制作:ジャケット制作基礎 制作:レコーディング基礎					
【前期】 14回目	宣伝・営業(販促):宣伝プラン／ミュージックビデオ① 宣伝・営業(販促):宣伝プラン／ミュージックビデオ②					
【前期】 15回目	宣伝・営業(販促):営業プラン／販売促進① 宣伝・営業(販促):営業プラン／販売促進②					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	ファンクラブワーク		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則上表記	ファンクラブワーク	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	15回(30単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	アーティストスタッフコース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	CMリサーチ、DTPオペレーター、雑誌デザインなど様々職種を経て、フリーランスに。ライター、マネジメント、イベント運営など、幅広く業務を行っている。				
授業概要					
ファンクラブとは何かを知るために、音楽業界の仕事の種類を知って各々どのような業務をしているか基礎知識を学ぶ。					
到達目標					
ファンクラブに関する基礎知識の修得。 及び、業界内の仕事が線で結ばれていることを知り、その中で自分がファンクラブを運営したいという志を持ってもらう。					
授業計画・内容					
【前期】 1～2回目	ファンクラブ、及びその他音楽業界に関わる仕事・人を知る				
【前期】 3～4回目	マネージメントとの関わり方・グッズ製作(販促物含む)				
【前期】 5～6回目	360度ビジネスについて				
【前期】 7～8回目	音楽業界とファンクラブについて知る				
【前期】 9～10回目	FCイベント企画制作・チケット先行、特典				
【前期】 11～13回目	FCイベント・企画制作に関わるリレーション				
【前期】 14～15回目	会報誌の作成、ライブレポートの作成				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	クリエイティブPC I		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	クリエイティブPC I		年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	30回(60単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	企画制作コース/アーティストスタッフコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	広告プロダクションにて広告デザインに携わる。その後様々なプロダクションにてデザインの業務に従事し、現在は独立。CDジャケットや本の装丁を中心に、アートディレクター、デザイナーとして活動。					
授業概要						
Macの基本操作、Illustrator・Photoshopを使用した書類、印刷物などの作成方法、ファイルフォーマット知識等PCの基本的リテラシーを学ぶ。						
到達目標						
Google、Illustrator、Photoshopの基本的な操作法およびデータファイルのビジネスでの使い方の修得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～4回目	Excel ・時間割の作成・セル内縮小・改行 ・関数 ・アートワード・図形描画・重なり合い ・タイムテーブル作成					
【前期】 5～8回目	色彩 ・RGBとCMYK・キーとの組み合わせ他 ・フォントの用法 ・ペンツール練習 ・ダイレクト選択ツール ・重なり合い					
【前期】 9～12回目	Illustrator ・トレース練習 ・図形描画 ・レイヤー ・文字ツール ・テキストエリア ・整列 ・パス ファイン ・スポイト ・はさみ等 ・Illustrator&PDFデータ作成 入稿データ作成手					
【前期】 13～16回目	Photoshop ・調整レイヤーによる補正 ・選択範囲の作り方・クイックマスク illustrator&photoshop 入稿データ作成					
【後期】 17～20回目	web 基礎知識(Dreamweaver) ・インターネットの仕組み、ネットリテラシー等 ・拡張子による形式の違い/カラーコード 16進数					
【後期】 21～24回目	web 制作(Dreamweaver) ・タグの使用ルール・基本的なタグ サンプルページの作成 ・要素・属性・値/align・imgなど ・絶対パスと相対パス					
【後期】 25～28回目	web 制作(Dreamweaver) ・Illustrator&photoshopでWeb用画像素材の作成 ・サンプルページ完成					
【後期】 29～30回目	web 復習 CSSの使い方・違い・使い分け 総括					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	プロダクション実習Ⅰ		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	プロダクション実習Ⅰ	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	60回(120単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置コース	アーティストスタッフコース/企画制作コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	キティミュージック(現ユニバーサルミュージック)に入社。マネージャーを担当。退社後、さまざまなアーティストのマネジメント&原盤制作で数々のヒットに貢献する。2005年にシューティングスター有限公司設立。主な業務としてマネジメント、原盤制作、ライブ制作等を行ない、現在はSEX MACHINEGUNSのエージェントなどに従事している。					
授業概要						
自身が一つのプロダクションに所属していると想定しマネジメント、レコードメーカー、ファンクラブに分かれて役割を担いながら、それぞれのセクションでの動きを実践する。プロダクション実習Ⅰでは、2年次のプロダクション実習Ⅱの前段的な動きとして、イベントの実施方法や担当アーティストの発掘を授業内でおこなう。						
到達目標						
対外とのやり取りやイベントの実施方法、宣伝広告の方法論、アーティスト発掘の方法論の修得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～4回目	オーディション概要／どんなアーティストを募集するのか					
【前期】 5～12回目	必要な宣伝方法／募集要項／選考方法／スケジュールリング					
【前期】 13～20回目	オーディションライブプレゼンテーション練習					
【前期】 21～28回目	オーディションライブプレゼンテーション本番					
【後期】 29～36回目	オーディションフライヤー作成／エントリーシートなどの作成					
【後期】 37～44回目	1次審査、2次審査についての内容を決定					
【後期】 45～52回目	選考締切～1次選考～結果通達					
【後期】 53～60回目	選考締切～2次選考～結果通達 次年度に向けたミーティング / アーティスト顔合わせ					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	A&R実習		授業形態 / 必・選	実習	選択	
	学則上表記	A&R実習	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	15回(30単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	アーティストスタッフコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	学生時代にエレキギターの勉強のため海外留学をする。日本コロムビア株式会社に入社。A&Rとしてアーティスト育成およびマネジメント、原盤制作、デジタルおよびメディアプロモーション、ライブイベント 制作およびブッキング、海外プロモーションなどを幅広く担当。					
授業概要						
アーティストの発掘、育成、マネジメントを行うA&R(アーティスト&レパトリー)という職業について、業務内容や各業務におけるポイント、アーティストとの関わり方等について多角的に学ぶ。						
到達目標						
アーティストが持つバックボーンや音楽の歴史等の知識の修得。音楽ジャンルに関する知識の修得。最新の音楽チャートから売れる音楽を読み、企画・プレゼンできる人材を目指す。						
授業計画・内容						
【後期】 1～2回目	A&Rの仕事:自分にとっての音楽について考える 音楽の歴史:概要～全体像認識					
【後期】 3～4回目	今週のチャートから、チャートから見える音楽業界を読み解く① 今週のチャートから、チャートから見える音楽業界を読み解く②					
【後期】 5～6回目	今週のチャートから、新号のトピックスをいくつか取り上げて解説する① 今週のチャートから、新号のトピックスをいくつか取り上げて解説する②					
【後期】 7～8回目	今週のチャートからチャートインするアーティスト、楽曲、そのプロモーション戦略などを考える					
【後期】 9～10回目	音楽の歴史:音楽シーン/相関(国内編) 音楽の歴史:音楽シーン/相関(海外編)					
【後期】 11～13回目	アーティストプレゼン:アーティスト選定 アーティストプレゼン:魅力の伝え方					
【後期】 14～15回目	アーティストプレゼン:プレゼン準備 アーティストプレゼン:発表					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	ファンクラブプロジェクトⅠ		授業形態 / 必・選	実習	選択	
	学則上表記	ファンクラブプロジェクトⅠ	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	15回(30単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	アーティストスタッフコース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	CMリサーチ、DTPオペレーター、雑誌デザインなど様々な職種を経て、フリーランスに。ライター、マネジメント、イベント運営など、幅広く業務を行っている。					
授業概要						
・ファンクラブを運営やグッズ制作をするうえで必要な「ファンの目線」にたった企画・運営力を養う。						
到達目標						
アイディアの発掘方法やプレゼンテーション技術、チームマネジメントなどビジネス的に成功に導くための重要なスキルを身につける。						
授業計画・内容						
【後期】 1～2回目	ファンクラブの運営ビジネス					
【後期】 3～4回目	予算の考え方 ファンクラブの形について					
【後期】 5～6回目	企画プランニング 会報誌の作成					
【後期】 7～8回目	仮想ファンクラブ作成と運用①					
【後期】 9～10回目	仮想ファンクラブ作成と運用②					
【後期】 11～12回目	グッズプランニング プレゼンテーション					
【後期】 13～14回目	グッズデザイン制作・入稿					
【後期】 15回目	総括					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						